

## 平成24年度 宇都宮都市交通戦略 短期的施策事業 一覧

## I.誰もが移動しやすい交通環境を整備する

施策事業名	主な取組状況等
1-① バス路線の新設	2路線で社会実験
1-② 地域内交通の導入	2路線で新規導入
1-③ C&R(C&BR)用駐輪場の整備	7か所整備
2-④ 乗り継ぎに便利なダイヤの調整	鉄道ダイヤ改正と連動したダイヤ調整の実施
2-⑥ 乗り継ぎ割引制度の導入	バス路線新設社会実験においてニーズ・課題等の把握
3-① バス優先(専用)レーン設置	新たなレーンはバス利用者から要望があれば検討
3-③ 歩車分離信号の設置	バス事業者からの大通り全交差点整備要望に対しては、必要箇所は調査を行い、メリット・デメリットを検討
3-④ バス停の利用環境整備	5か所整備
3-⑤ 複数バス停の統合	東野交通「宇都宮営業所」を「平出工業団地」とし関東自動車と名称統一
3-⑥ 目的・ニーズに応じたバスの運行	深夜バス(4路線)、直通バス(5路線)を運行継続
4-① 鉄道駅のインフォメーションの改善	JR宇都宮駅における有人案内の増員(3→4)、東口への新設(1)
4-③ バスの運行情報の提供	5路線でバスロケーションシステム導入
5-① JR宇都宮駅西口交通環境の整備	交通円滑化等について関係機関との協議。西口周辺地区整備基本構想の策定
5-② JR雀宮駅西口広場・交通環境の整備	西口広場の供用開始(H24.10)
5-③ JR岡本駅周辺の整備	東西駅前広場整備に関する詳細設計
6-① 都市計画道路の整備	「泉が丘線」供用開始(H25.3)
6-② 道路新設改良事業	「みずほの通り」ほか28路線の整備

## II.まちづくりに資する交通環境を整備する

施策事業名	主な取組状況等
1-① 幹線バスの運行サービスの充実	2路線で社会実験
1-② 循環バス(ミニバス)の運行	2路線で社会実験
3-② 都心部道路景観整備事業	「ユニオン通り」電線地中化等の詳細設計。事前支障移設
3-③ 大通りランジットモール化	東西基幹公共交通の検討状況を踏まえ検討
3-④ レンタサイクルの充実	7か所165台の供用による41,000人の利用見込
3-⑤ モビリティセンターの整備	「宮サイクルステーション」の指定管理者導入に向けた手続
4-③ 自転車道の整備	競輪場通り・今小路通りほか4路線3,320m整備
4-⑤ 休憩スポット(自転車の駅)の設置	15か所整備。延べ30か所
4-⑥ 自転車マップの作成	中心部版15,000部、郊外部版6,000部作成・配布
5-① 土地区画整理事業による道路の整備	鶴田第2、宇大東南部第1・第2、岡本駅西で延べ1,843m整備

## III.人や環境にやさしい交通を整備する

施策事業名	主な取組状況等
1-① JR岡本駅橋上化・東西連絡通路の新設	東西自由通路・橋上駅舎に関する詳細設計
1-② 公共交通のバリアフリー事業の推進	JR宇都宮駅新幹線ホーム点字ブロック
1-④ 人にやさしいバスの導入	8台導入。延べ111台/293台
2-② 低公害車・低燃費型自動車の導入促進	広報紙やイベントにおける情報発信。公用車1台増車
2-③ 環境にやさしいバスの導入	8台導入。延べ168台/293台
3-④ 道路バリアフリー事業の推進	国道4号線・雀宮駅前歩道の整備。点字ブロック1,100m整備
3-⑤ JR雀宮駅周辺道路の整備	市道713号線120m整備
4-① モビリティ・マネジメントの実施	バス路線新設社会実験・学校MMの実施。関東自動車との連携による路線案内の配布
4-② バス鉄道利用デーの推進	県内エコ通勤統一行動習慣の実施(自治体職員18,000人、42事業者参画)
5-① 高齢者外出支援事業	交付約18,000人。3社共通バスカード98%
5-② 障がい者の外出支援	タクシー利用助成約6,200人、公共交通費助成約2,000人
5-③ 障がい者福祉バス事業	延べ利用約190団体、約4,600人

※数値はH25.3.31見込